

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-12

5-II  
-12

5-II -12	章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	本土側の関連団体との連携
	節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
	事業(施策)名	12 本土側の佐渡金銀山関連団体等との連携	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会、佐渡を世界遺産にする首都圏の会
事業概要	【事業目的】	○佐渡金銀山の世界遺産ブランドを活用し、本土側の関連自治体、団体等との連携・協働を図り、広域的な情報発信を図る。		
	【事業内容】	○本土側のかつての「金の道」に関連する自治体や団体等との広域的な連携・協力体制を築き、相互交流の促進や圏内外への情報発信を推進する。		
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	●関連民間3団体とともに、「首都圏イベント」と「金の道ウォーク」を首都圏において実施する。		
	【30年度実績】	●関連民間3団体とともに、「金の道ウォーク」を首都圏において、3回実施した。(大宮～日本橋) ●7月末の国内推薦発表を前に、世界遺産登録の機運情勢のため「首都圏交流イベント」を首都圏で実施した。(参加者数約350名)		
課題・今後の取組	【課題】	■「金の道ウォーク」に多額の経費を要するため、行政からの補助金額の増加について民間団体からの要望を受けている。		
	【今後の取組】	■来年度以降の「金の道ウォーク」実施時の費用低減可能性について関連団体と協議する。		
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [ a ○ b ・ c ]		
	【事業実施の効果】	[ a ○ b ・ c ]		
	【総合評価】	[ A ○ B ・ C ]		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。